

令和7年度 通史展示室 ミニ展示

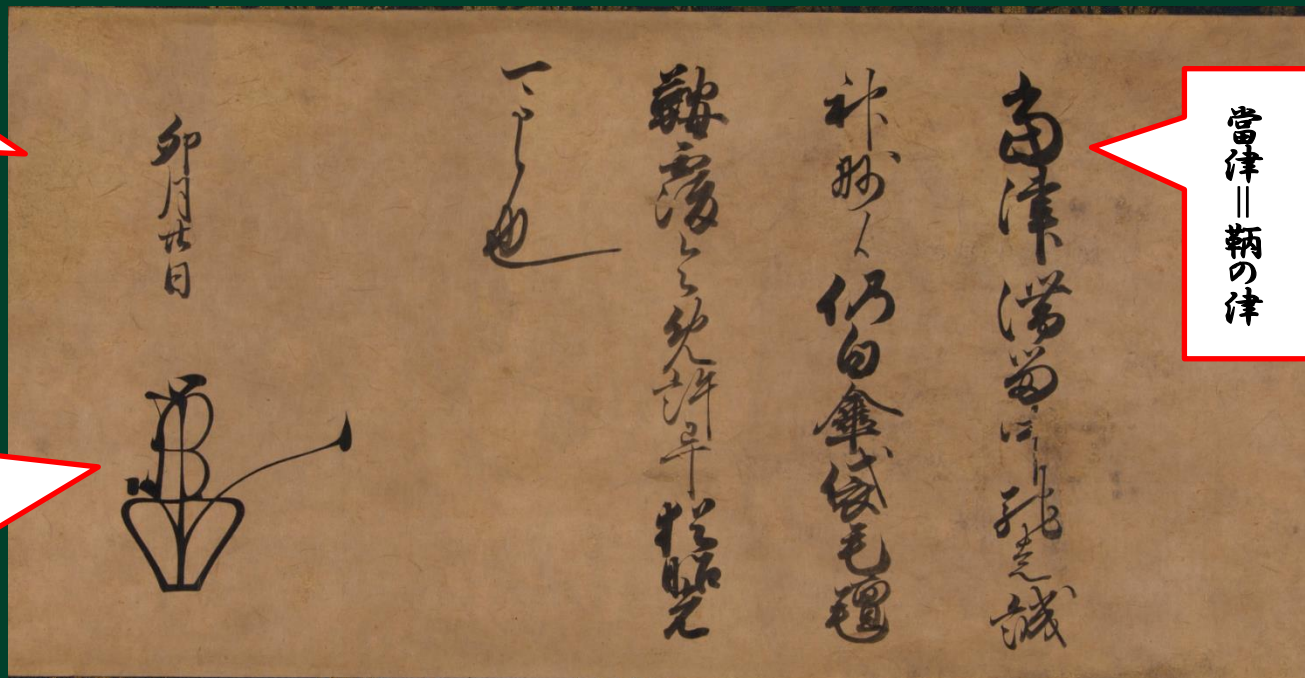
第14回

中世文書を読む

「守屋壽コレクション所収のもう一つの足利義昭御内書」

宛名なし

足利義昭の花押(サイン)



當津＝鞆の浦

天正4年(1576)2月、室町幕府の将軍であった足利義昭が、備後国鞆の浦へやってきます。毛利氏の支援を受けて、織田信長によって追放された京都へ帰るためです。今回展示する足利義昭御内書は、鞆の浦に滞在中にお世話になった人物に対し、「白傘袋」と「毛氈鞍覆」の使用を許可したものです。それはいったい誰でしょう？ また、この文書は、いつ頃書かれたのでしょうか？今回は、これらの謎に迫ります。



令和7年

4月22日(火) ▶ 6月15日(日)

開館時間 : 午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)
会場 : 広島県立歴史博物館 通史展示室
休館日 : 月曜日(5月5日は開館)、5月7日(水)
入館料 : 一般290円(220円)、大学生210円(160円)
高校生まで・65歳以上無料、
※()内は20名以上の団体



広島県立歴史博物館
Hiroshima Prefectural Museum of History
草戸千軒ミュージアム

問合せ 〒720-0067 福山市西町2-4-1
TEL 084 (931) 2513 FAX 084 (931) 2514